

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 サイコロネット

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

無料メールカウンセリングによる心の悩みを抱える人の援助

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

年間3万人もの自殺者が続く中で、自殺を考える人や自殺に至らないまでも深い悩みや問題を抱える人は膨大な数に上ります。カウンセリングによる援助はこれらの人を救う最も効果的な方法だと考えられますが、カウンセリングを受けたくても受けることができずにいる人たちが多く存在しています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

心の悩み相談を電子メールによって受け付け、カウンセラーが無料で回答を行います。必要に応じて、継続してのメールカウンセリング、面接のカウンセリング、病院の紹介など、相談者の状況に応じた援助を行います。また、今後も安定的にその援助が行えるよう、システムを強化し、カウンセラーを養成します。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

無料メールカウンセリングは、飽和状態が続いており、回答に要する日にちを表示して、受け付け数を制限しました。回答が2週間を超えると相談件数が減りますので、回答が早くできるようになり、バランスを取りました。その結果、26年度は、360件(お礼状、質問等も含めると385件)の相談を受け付け、回答しました。

カウンセリング学習会は年間を通し8回行い、回答担当者のカウンセリング・マインド向上に努めました。学習会には延42名の参加がありました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

時々、相談が急激に増えることがありました。これは、過去の経験から他サイトで紹介されたり、検索のトップページでリンクされたためと思われます。基本的に相談を断らないようにしているため、回答までの時間が最長3週間もかかることになりましたが、「お急ぎの場合は他の相談機関をご利用下さい」とお願いすることにより、現在は2週間程度に落ち着いています。相談を希望される方は非常に多く、十分に受け容れられない状況がずっと続いています。回答者の養成をはかり、回答者を増やして需要に応じていきたいと思えます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり

カウンセリング学習会 26年10月12日



カウンセリング学習会 26年11月9日

